

# 専門継続力強化を積極的に推進

静岡県代協

## 2022年度総会を開催

静岡県代協(菊地勝男会長)は5月27日、静岡市の男女共同参画センターで2022年度総会を開いた。総会では2021年度事業報告や2022年度事業計画、役員改選など6つの付議事項を審議し、いずれも可決承認された。役員改選では、菊地氏が3期6年の会長任期を満了して退任。新会長には土屋廣実氏が選任された。

### 新会長に土屋氏を選任

#### 各委員会の取組みの共有を



土屋新会長

総会に先立ち挨拶した菊地氏は、会長を務めた6年間の振り返りつつ成果と課題を示し、次期会長に代協組織の拡充に向けた取組みを託した(挨拶要旨は別掲)。

情報共有しながら会員拡充に努めたと説明した。企画環境委員会による事業継続力強化計画認定制度の取組みについては、「有事の際に地域社会を守る役割を担う保険代理店として必要不可欠な取組みであり、事業継続力強化計画の作成を通じて企業に対して最適な提案が可能になる」として、今年度も積極的に推進する考えを示した。

挨拶した土屋氏は「静岡県代協では各委員会がさまざまな行事を行っているが、全会員には行き届いていないように感じている。せっかく各委員長を中心に取り組んでくれていることをすべての会員が共有して、もっと良い会にしていきたいと思っている。私は会長に就任したが、皆様方のお力添えがなければ何もできないのでぜひとも協力をお願いしたい」と述べた。

総会終了後はオンラインセミナーが行われ、日本代協アドバイザーの中崎章夫氏が「最近の業界動向とプロ代理店経営の課題DXによる代理店価値の創造」をテーマに講演した。

### 組織力の強化が会存続の根幹!

菊地会長挨拶要旨

6年前、まだ理事・役員経験の浅い私が、諸先輩を差し置き、はばかりもせずこの代協のかじ取り役の推挙を受けて

私なりに、これらの目的を具現化するための手順を建て、皆様の協力を仰ぎました。1期目の仕事は、各支部から有数の委員を選任し、会員拡大戦略本部なるものを創り、自ら長となって理事・役員・委員とともに新会員拡大に特化し、一丸となって奔走しました。また永年の赤字体制の改革にも着手しました。2期目は支部の自立と活性化を促進するため、今までの本部で活躍いただいていたベテラン役員の方々に支部長役を受けていただき、3期目は、役が人を作るといふことの効果を期待して、本部役員人事の刷新と次世代人材の育成に注力しました。



菊地会長

これからの代協運営は、従来のやり方を踏襲する運営だけでは、必ず成り立たなくなります。会員の減少は疲弊の歩をたどり、それは会の存続にも大きく関わります。会員の本業を支援する代協としての役割をどのように示して理解いただくかが大きな課題です。新しいリーダーには、他団体の運営手法なども取り入れ、斬新な手法で、斬新な風を巻き起こすことを期待しております。そして、私の代で成しえなかつたことを託したいと思っております。よろしくお

## 斬新な手法で新風を巻き起こすことを期待

た6年間でしたが、すべてがまだまだ十分な結果が得られたとは到底言えず、道半ばの悔いが残っています。また、静岡県代協の必須目標として掲げた、5年間で50%の会員組織率向上という私の悲願は未達成です。どんな団体でも企業でも言えることだろうと思いますが、長年、居座わっているだけで緊張感をなくしたりリーダーの元では新しい風は吹きませません。人事を熟慮し、手法を進化向上させるポリシーと行動がなければ目標達成は極めて困難だと思います。私も例外でなく、知恵の湧き池も枯渇しはじめて、私の引き際もこの時期がちょうどよい潮時と思っております。

試行錯誤の努力を重ねてまいります。